

## マンスリー・サンズ・トーク (67)

2014.6.1

木村 謙

### 千住の宿場町

足立区千住は、江戸四宿のひとつとされ、江戸を出入りする旅の起点、終点であった。

ほかの3つは、品川宿、新宿、板橋宿。

5月、旅人になったつもりで千住を訪れた。

### 日光街道、奥州街道、水戸街道の宿駅

今、水戸へゆくJR常磐線は、ここに北千住駅がある。駅のひとすじ西側に旧街道があり、「宿場町通り」という繁華な商店街になっている。



旧街道「宿場町通り」

地名は千住 <sup>なかちよう</sup>仲町、その中ほどに千住宿問屋場、貫目改所跡が公園になっている。



そこを少し北上すると道標があって、北へ旧日光道中、東へ旧水戸佐倉道と表示されている。

あとで地図を見ると、JR常磐線は水戸佐倉道と示す方向にカーブして水戸へ向かっているのです。



商店街の中ほどには、街の駅という案内所があり、親切な女性が宿場町のあれこれを教えてくれます。

### 千住宿のかつての賑わい

日光東照宮や輪王寺は、江戸期を通じ、幕府格別の寺社として常に手厚く参詣されていた。上野東照宮の神官も日常的に日光へ出向いていたようだ。そんな使節は、隅田川を船で遡り、千住大橋で陸に上がって日光へ行く。北関東や、奥州の大名達の参勤交代も頻繁だった。また、松尾芭蕉は曾良を従者に深川から船で上り、この地で見送りの弟子と別れて奥の細道へと旅立った。

行く春や 鳥啼き 魚の目に涙 矢立初の句



千住大橋北詰にある芭蕉像

この像は最近の作らしいが、背景に芭蕉の葉が見えるなど、過剰サービスだっつうの。それはともかく、千住は宿場としてすこぶる発展し、昔の野菜市場が今でも中央卸売り足立市場として頑張っている。私が多少歩いた程度では、千住を観察するには浅すぎるが、駅前には0101丸井やルミネがあるし、東京電機大学や東京芸大キャンパスもあって、今や北東京の有力な文化拠点になっているのです。